

(別紙1)

水産土木工事における総合評価落札方式の評価項目及び評価基準に関する運用方針
(令和2年度版)

1 「環境公共」に関する評価項目の追加について

農林水産部では、農林水産業の生産基盤や農山漁村の生活環境の整備を行う公共事業を「環境公共」と位置づけ、「地域力の再生」、「環境への配慮から保全・再生へ」、「強固な農・林・水の連携」を取組方向として推進しており、漁港、漁場及び漁港海岸の整備に係る事業(以下「水産基盤整備事業等」という。)もその一つとなっています。

漁港漁場整備課では、この取組の一環として、水産基盤整備事業等に係る工事(以下「水産土木工事」という。)のうち、施工環境監理者を配置する工事について、「総合評価落札方式【標準型・簡易型】に関するガイドライン(令和2年度版)」の配置予定技術者の能力の評価項目に、施工環境監理者の資格保有に関する事項を追加するとともに、地域貢献の項目に、環境への配慮保全及び地域水産業の振興に関する事項を追加することとします。

2 「環境公共」に関する追加対象工事

総合評価落札方式(「標準型」、「簡易型」、「簡易型」)対象工事のうち、「漁港漁場工事等施工環境監理者配置要領」に基づき施工環境監理者を配置する工事

3 追加する評価項目及び評価基準

(1) 配置予定技術者の能力

評価項目	評価基準	配点
施工環境監理者の技術士等資格保有の有無	技術士・技術士補(水産部門(水産土木))又は水産工学技術士(水産土木部門)を保有している	1.0
	上記以外	0.0

(2) 地域貢献

評価項目	評価基準	配点
平成29年度以降の水産土木工事における施工環境に配慮した取組の効果、影響等の把握実績の有無	地域内における施工環境監理者配置制度対象工事の工事完了後に調査等を行い、効果、影響等を的確に把握した実績有り	1.0
	上記以外	0.0
平成29年度以降における地域水産業の振興に資する活動への協力の有無	地域内の漁業協同組合等が行う水産動植物の資源維持・回復等に係る活動への協力の実績有り	1.0
	上記以外	0.0

4 適用年月日

令和2年7月1日以降入札公告の工事に適用します。

5 追加する評価項目の詳細について

(1) 配置予定技術者の能力

施工環境監理者の技術士等資格保有の有無【施工に係る環境への配慮、保全・再生に関する視点】

ア 評価基準の内容

環境保全に配慮した円滑な施工を確保するために配置する施工環境監理者について、技術士もしくは技術士補のうち水産部門(水産土木)の資格又は社団法人大日本水産会が行う水産工学技士(水産土木部門)認定試験に合格し水産工学技士として登録した資格の有無について評価します。

イ 評価に必要な資料等

技術士・技術士補(水産部門(水産土木))、水産工学技士の登録証又は資格者証の写しの提出を受け確認します。

(2) 地域貢献

地域貢献に係る「地域」とは、当該工事の工事場所の市町村内とし、入札設定資格要件で定める範囲ではありません。

平成29年度以降の水産土木工事における施工環境に配慮した取組の効果、影響等の把握実績の有無【施工に係る環境への配慮、保全・再生に関する視点】

ア 評価基準の内容

地域内における施工環境監理者配置制度対象工事について、工事完了後に工事箇所及びその周辺について潜水等による調査を行い、施工前、施工中等の環境配慮の結果と完了後の調査結果との比較等により、施設整備等による効果、影響等を的確に把握した実績の有無について評価します。

イ 評価に必要な資料等

- 1)実施した施工環境配慮の取組の効果、影響等の把握のための工事完了後の調査結果がわかる資料及び調査状況写真の提出を受け確認します。
- 2)施工中に施工環境配慮の取組を実施した工事の竣工登録工事カルテ受領書の写しの提出を受け、対象工事を確認します。

平成29年度以降における地域水産業の振興に資する活動への協力の有無【生産性向上による地域力の再生に関する視点】

ア 評価基準の内容

地域内の漁業協同組合などが行う、水産動植物の資源維持・回復等に向けた「つくり育てる漁業」の推進等、漁業の生産性向上による地域水産業の振興を図る活動への協力実績の有無について評価します。

イ 評価に必要な資料等

実施した地域水産業振興に係る協力内容がわかる資料や活動状況写真の提出を受け確認します。